

いざっ!!
2011年
振り返り!



【街頭演説】春夏秋冬、朝昼夕、時間の許す限り皆様のお声を直接伺えるよう、駅前や街中に立ち続けます。ご意見あればお声掛け下さい。



【子ども達】いつも子ども達には笑顔と元気を頂きます。一緒にいると思わず童心に戻ることも。



【スポーツ応援】野球・ソフトボール・テニス・柔道・剣道・空手・ボウリング・ボウリースカウトなどの激励に駆けつけました。



やっぱ界に!



【スポーツ参加】流山発祥のヘルスバレーボールは常連メンバー。運動会では障害物リレーに参加し全力疾走。ときには釣りや、グランドゴルフでゆったりと。



【バーベキュー】真夏に熱い鉄板を囲んでの食事は仲間の証。



【武将】関宿城祭りにて鉄砲隊の号令役を拝命。



【花も団子も】綺麗なアジサイを眺めながら、えだ豆を満喫。

【国会見学】皆様と一緒に修学旅行気分のひとつ。旅のプランにさいとう健国会見学ツアーをぜひどうぞ。



【餅つき】周りにはお腹を空かせた子ども達が...



【カラオケ】私の歌、そろそろ上達してきましたか?



【国政】テレビ中継されることもしばしば。詳しい内容は表面の「活動史」を参照。



【祭り】太鼓の音色に誘われて飛び入り参加することも。どこも個性豊かなお祭りです。



【ミニ集会】お店・自宅・集会所、お声がかかればどこにでも参加します。少人数でゆっくりとお話しができれば幸いです。



【講演会】各種式典・記念大会にて講演。また、皆様のお声も伺う大切な機会の一つです。



【被災地視察】被災地視察の迷惑にならないよう、配慮しながら視察。現地の方



【地元問題】約束として掲げた問題などについて、市議・県議と定期的に協議。



【農業】現場の声を伺います。収穫の喜びも体験しました。

さいとう健の意見 消費税

消費税については、次のような段取りで議論を進めるべきです。

- ① 消費税だけでなく法人税や相続税などを含めて抜本的な見直しを行い、それぞれ何に使われるかの考え方を明確にする。
 - ② 増税の前に、痛みを伴う歳出削減をここまでやったけどまだこれだけ足りないという姿を具体的に提示する。
 - ③ その上で、一つの増税案を決め打ちするのではなく、2つ3つ選択肢を示して国民的議論の中で最終決定する。
- 残念ながら、政府が3月にも国会に提出しようとしている消費税増税法案は、%先にありきの議論で、こういう丁寧な段取りにはなっていません。そもそも、民主党政権のマニフェストでは、予算を組み替えればいくらでも財源は出てくるとしていたわけですので、どうして突然消費税の増税の議論になるのか、さいとう健にはわかりませんし、有権者の皆さんも理解できないのではないのでしょうか。
- 国民生活が第一と言っている政党としては、あまりに議論の進め方が乱暴に過ぎると思います。

※こういったテーマについてミニ集会で意見交換をぜひしたいと思っておりますので企画して頂ければ幸いです。

地元放射線問題

原子力政策は自民党政権の下で推し進められてきたものであり、今回の福島第一原子力発電所の事故は、慙愧に耐えないところです。改めてお詫びいたします。

さいとう健の地元でも、ホットスポット問題が発生しましたが、実は当初、発電所の敷地外に放出された放射性物質対策について、どこの省庁が担当するかさえ決まっていませんでした。そういう事態を想定していなかったからです。

そこで罪滅ぼしの思いもあって、政府部内で体制整備と対策をきちんと決めるように政府に何度も何度も要請しましたが、進まないものですから、私も立案に深く関わりながら党の議員立法で法案を提出し成立しました。

この法律のポイントは、次のとおりです。

- ① 清掃工場内の放射性焼却灰の処理は、国の責任において行う。
 - ② 自治体を実施する除染は、国が費用を出す。
- この法律は、平成24年1月1日から動き出しましたが、骨抜きにしようという動きもあり、今後も厳しく監視していきたいと思っております。



TPP

アメリカと厳しい通商交渉を実際に行ってきた自らの経験に照らして思うことは、

- ① TPPは脅威でもなければ、切り札でもない。つまり、このままではTPPに入らなくても日本の農業は高齢化で衰退を免れないし、また、TPP以外にも貿易などの自由化を進める手段はいくつもあります。
- ② TPPはあくまでも一つの手段であり、むしろ農業改革を進めるために、あるいは日本の産業の活性化のために、使えるものは使っていけばいいというたまたかな発想が大事です。そして、どうしてもマイナスが大きいようであれば合意をしなければいい。
- ③ ただ、今の政権の言動を見ていると、とても厳しい通商交渉ができる力量があるようには思えない。例を挙げれば枚挙に暇がありません。例えば、前原政調会長は、交渉がうまくいかなければ離脱すればいいと言いましたが、「離脱」という言葉は日本だけが悪者になる言い方であり、絶対に当事者が使ってはいけません。「合意が成立しない」と言わねばなりません。「合意が成立しない」のは皆に責任がある言い方だからです。こんな調子だから、国益をかけた交渉を進めることは、この政権では無理だと断言できます。

